

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信	特化型
信託期間	2025年3月14日まで（2015年3月20日設定）	
運用方針	<p>円建ての外国投資信託であるAMP オーストラリアリート ファンドの投資信託証券への投資を通じて、主としてオーストラリアの不動産投資信託証券への実質的な投資に加えて、円に対する豪ドルのコール・オプションおよびオーストラリアの不動産投資信託指数のコール・オプションの売却によってオプション・プレミアム収入を獲得する、カバード・コール戦略を実質的に活用します。なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。円建ての外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。</p> <p>不動産投資信託証券等の運用にあたっては、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドが行います。また、カバード・コール戦略の運用は、クレディ・スイス・マネジメント（ケイマン）リミテッドが行います。</p>	
主要運用対象	三菱UFJ/AMPオーストラリアREITファンド<Wプレミアム>（毎月決算型）	AMP オーストラリア リート ファンドおよびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。
	AMPオーストラリアリートファンド	オーストラリアの不動産投資信託証券、ならびに円に対する豪ドルのコール・オプション取引およびオーストラリアの不動産投資信託指数のコール・オプション取引を主要投資対象とします。
	マネー・マーケット・マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への直接投資は行いません。
主な組入制限	投資信託証券への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第3計算期末までの間は、収益の分配は行いません。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

- ファンドは特化型運用を行います。一般社団法人投資信託協会は信用リスク集中回避を目的とした投資制限（分散投資規制）を設けており、投資対象に支配的な銘柄（寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い銘柄）が存在し、又は存在することとなる可能性が高いものを、特化型としています。
- ファンドは、オーストラリアの不動産投資信託証券に実質的に投資します。オーストラリアの不動産投資信託証券には、寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い支配的な銘柄が存在するため、特定の銘柄への投資が集中することがあり、当該支配的な銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。  
 \* 寄与度とは、投資対象候補銘柄の時価総額の合計額における一発行体あたりの時価総額が占める比率または運用管理等に用いる指数における一発行体あたりの構成比率を指します。

## 運用報告書（全体版）

# 三菱UFJ/AMP オーストラリア REITファンド <Wプレミアム>（毎月決算型）

愛称：コアランド



第79期（決算日：2021年10月15日）  
 第80期（決算日：2021年11月15日）  
 第81期（決算日：2021年12月15日）  
 第82期（決算日：2022年1月17日）  
 第83期（決算日：2022年2月15日）  
 第84期（決算日：2022年3月15日）



## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「三菱UFJ/AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム>（毎月決算型）」は、去る3月15日に第84期の決算を行いましたので、法令に基づいて第79期～第84期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。  
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



## 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
 フリーダイヤル **0120-151034**  
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、  
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近30期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 価 額			債 券 組 入 比	債 券 先 物 比	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 中 率				
	円	円	%	%	%	%	百万円	
55期(2019年10月15日)	4,110	70	0.9	—	—	98.5	2,863	
56期(2019年11月15日)	4,065	70	0.6	—	—	98.8	2,811	
57期(2019年12月16日)	3,981	50	△ 0.8	—	—	98.5	2,882	
58期(2020年1月15日)	4,153	50	5.6	—	—	99.1	2,980	
59期(2020年2月17日)	4,181	50	1.9	—	—	98.8	2,973	
60期(2020年3月16日)	3,047	50	△25.9	—	—	98.8	2,121	
61期(2020年4月15日)	2,683	50	△10.3	—	—	96.5	1,876	
62期(2020年5月15日)	2,652	50	0.7	—	—	97.5	1,856	
63期(2020年6月15日)	2,908	50	11.5	—	—	99.0	2,040	
64期(2020年7月15日)	2,903	50	1.5	—	—	99.0	2,036	
65期(2020年8月17日)	3,071	30	6.8	—	—	99.0	2,144	
66期(2020年9月15日)	3,113	30	2.3	—	—	99.0	2,157	
67期(2020年10月15日)	3,179	30	3.1	—	—	99.0	2,199	
68期(2020年11月16日)	3,252	30	3.2	—	—	99.0	2,244	
69期(2020年12月15日)	3,288	30	2.0	—	—	99.0	2,219	
70期(2021年1月15日)	3,250	30	△ 0.2	—	—	99.0	2,183	
71期(2021年2月15日)	3,279	30	1.8	—	—	99.0	2,197	
72期(2021年3月15日)	3,271	30	0.7	—	—	99.0	2,192	
73期(2021年4月15日)	3,451	30	6.4	—	—	99.0	2,224	
74期(2021年5月17日)	3,445	30	0.7	—	—	99.0	2,010	
75期(2021年6月15日)	3,572	30	4.6	—	—	99.0	2,024	
76期(2021年7月15日)	3,494	30	△ 1.3	—	—	99.0	1,955	
77期(2021年8月16日)	3,515	30	1.5	—	—	99.0	1,959	
78期(2021年9月15日)	3,564	30	2.2	—	—	99.0	1,943	
79期(2021年10月15日)	3,561	30	0.8	—	—	99.0	1,915	
80期(2021年11月15日)	3,593	30	1.7	—	—	99.0	1,888	
81期(2021年12月15日)	3,633	30	1.9	—	—	99.0	1,871	
82期(2022年1月17日)	3,454	30	△ 4.1	—	—	99.0	1,747	
83期(2022年2月15日)	3,270	30	△ 4.5	—	—	99.0	1,603	
84期(2022年3月15日)	3,346	30	3.2	—	—	99.0	1,603	

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	証 券 率
			騰 落 率	騰 落 率						
第79期	(期 首) 2021年9月15日	円 3,564	% -	% -	% -	% -	% -	% -	% 99.0	% 99.0
	9月末	3,462	△2.9	-	-	-	-	-	99.0	99.0
	(期 末) 2021年10月15日	3,591	0.8	-	-	-	-	-	99.0	99.0
第80期	(期 首) 2021年10月15日	3,561	-	-	-	-	-	-	99.0	99.0
	10月末	3,668	3.0	-	-	-	-	-	99.0	99.0
	(期 末) 2021年11月15日	3,623	1.7	-	-	-	-	-	99.0	99.0
第81期	(期 首) 2021年11月15日	3,593	-	-	-	-	-	-	99.0	99.0
	11月末	3,540	△1.5	-	-	-	-	-	99.0	99.0
	(期 末) 2021年12月15日	3,663	1.9	-	-	-	-	-	99.0	99.0
第82期	(期 首) 2021年12月15日	3,633	-	-	-	-	-	-	99.0	99.0
	12月末	3,771	3.8	-	-	-	-	-	97.1	97.1
	(期 末) 2022年1月17日	3,484	△4.1	-	-	-	-	-	99.0	99.0
第83期	(期 首) 2022年1月17日	3,454	-	-	-	-	-	-	99.0	99.0
	1月末	3,237	△6.3	-	-	-	-	-	99.0	99.0
	(期 末) 2022年2月15日	3,300	△4.5	-	-	-	-	-	99.0	99.0
第84期	(期 首) 2022年2月15日	3,270	-	-	-	-	-	-	99.0	99.0
	2月末	3,352	2.5	-	-	-	-	-	99.0	99.0
	(期 末) 2022年3月15日	3,376	3.2	-	-	-	-	-	99.0	99.0

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第79期～第84期：2021年9月16日～2022年3月15日

## ▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第79期首	3,564円
第84期末	3,346円
既払分配金	180円
騰落率	-1.1%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

## 基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ1.1%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

## > 基準価額の変動要因

### 上昇要因

豪ドルが対円で上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。  
オプション・プレミアム収入を獲得したことが、基準価額の上昇要因となりました。

### 下落要因

ファンドで保有する一部の銘柄がローカルベースで下落したことが、基準価額の下落要因となりました。保有銘柄の中では、「MIRVAC GROUP」（各種・分散投資型）や「CHARTER HALL GROUP」（各種・分散投資型）などが下落しました。  
オーストラリアのREIT指数のコール・オプション取引に係る損失が発生したことが、基準価額の下落要因となりました。

第79期～第84期：2021年9月16日～2022年3月15日

## 投資環境について

### ▶ オーストラリアREIT市況

**オーストラリアREIT市況は、当作成期間を通しては下落しました。**

経済回復期待などから2021年12月までは上昇を維持したものの、2022年1月以降はオーストラリア準備銀行（RBA）の金融引き締め観測や長期金利の上昇、ウクライナ情勢の悪化などによる市場の警戒感の高まりなどから、REIT市況は下落へと転じました。

不動産用途別では、ヘルスケアや専門・その他投資型などが上昇した一方、住宅用、各種・分散投資型などが下落しました。

### ▶ 為替市況

豪ドルは、当作成期間を通しては対円で上昇しました。

### ▶ 国内短期金融市場

**無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。**

当作成期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.008%となりました。

## ▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ 三菱UFJ／AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム>（毎月決算型）

外国投資信託であるAMP オーストラリアリート ファンドを高位に組み入れた運用を行いました。また、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。

### ▶ AMP オーストラリアリート ファンド

オーストラリアのREITを高位に組み入れる運用を行うとともに、円に対する豪ドルのコール・オプションおよびオーストラリアのREIT指数のコール・オプションの売却によってオプション・プレミアム収入を獲得する、カバード・

コール戦略を活用する運用を行いました。REITへの投資にあたっては、人口動態分析、マクロ経済分析等のトップダウン・アプローチと、個別銘柄の割安度や保有資産・業績の分析および資本構造や経営の質等の分析によるボトムアップ・アプローチを併用し、銘柄選定を行いました。

当作成期は、店舗用、工業用などの投資比率を引き上げた一方、各種・分散投資型、オフィスなどの投資比率を引き下げました。

### ▶ マネー・マーケット・マザーファンド

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

## ▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

## 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期	第84期
	2021年9月16日～ 2021年10月15日	2021年10月16日～ 2021年11月15日	2021年11月16日～ 2021年12月15日	2021年12月16日～ 2022年1月17日	2022年1月18日～ 2022年2月15日	2022年2月16日～ 2022年3月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	30 (0.835%)	30 (0.828%)	30 (0.819%)	30 (0.861%)	30 (0.909%)	30 (0.889%)
当期の収益	30	30	30	30	30	30
当期の収益以外	-	-	-	-	-	-
翌期繰越分配対象額	1,543	1,571	1,600	1,627	1,655	1,687

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

### ▶三菱UFJ／AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)

外国投資信託への投資を通じてオーストラリアのREITを高位に組み入れ、値上がり利益の獲得および配当収益の確保をめざします。また、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行います。

### ▶AMP オーストラリアリートファンド

オーストラリアREITは、新型コロナウイルスワクチンの広範な接種による経済正常化期待を受けた投資家心理の回復などを背景に徐々に落ち着きを取り戻しつつあるものの、不透明感は続いています。またインフレ警戒感や金利の上昇も不透明感を高める可能性があり注視して

います。

不動産の用途別では、事業環境が良好な工業用不動産を保有する銘柄に注目しています。工業用のリートに関しては、オンライン・ショッピング市場の拡大期待などを背景に事業環境は良好です。オフィスに関しては、新型コロナウイルスワクチンの普及などによりオフィス需要は回復してくると考えますが、オフィス・スペースへの需要変化や在宅勤務の浸透などによるワークスタイルの多様化なども考慮すると、見極めが必要とみています。堅調であったシドニーやメルボルンの住宅価格の上昇ペースは緩やかになっていくとみています。当局が、利上げを実施することや、金融システムの安定を図り住宅市場に規制を導入する可能性などを注視しています。一方で、店舗用不動産は、住宅市場の改善などを受けて、大型店舗用不動産の収益回復を見込んでおりますが、オンライン・ショッピング市場の台頭に伴い、実店舗の収益へ

の下押し圧力が想定されることから慎重にみています。

運用につきましては、不動産価値の向上が期待される優良な物件を重視した運用を行い、中長期的な信託財産の成長と配当収益の確保をめざします。

また、円に対する豪ドルのコール・オプションおよびオーストラリアのREIT指数のコール・オプションの売却によってオプション・プレミアム収入を獲得する、カバード・コール戦略を活用します。

#### ▶ マネー・マーケット・マザーファンド

消費者物価の前年比は依然として2%を大きく下回っており、今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

2021年9月16日～2022年3月15日

## 1万口当たりの費用明細

項目	第79期～第84期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	19	0.543	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(7)	(0.202)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(12)	(0.327)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(0)	(0.014)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	19	0.545	

作成期中の平均基準価額は、3,517円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

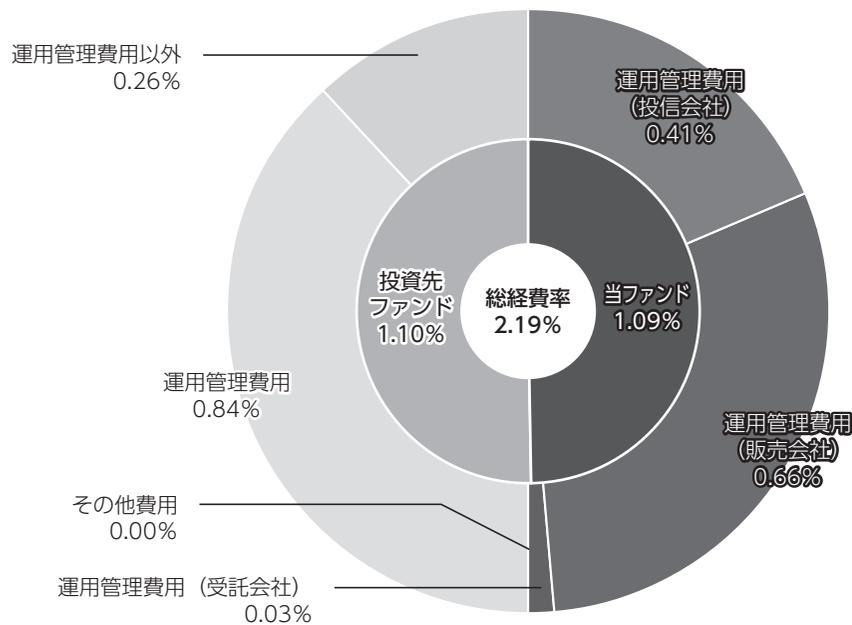
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.19%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	2.19
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.09
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.84
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.26

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2021年9月16日～2022年3月15日)

## 投資信託証券

銘柄		第79期～第84期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	AMP オーストラリア リート ファンド	千口 86	千円 223,324	千口 141	千円 363,400

(注) 金額は受渡代金。

## ○利害関係人との取引状況等

(2021年9月16日～2022年3月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2022年3月15日現在)

## ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第78期末		第84期末	
		口数	口数	評価額	比率
	AMP オーストラリア リート ファンド	千口 717	千口 661	千円 1,587,979	% 99.0
	合計	717	661	1,587,979	99.0

(注) 比率は三菱UFJ/AMP オーストラリアREITファンド&lt;Wプレミアム&gt; (毎月決算型) の純資産総額に対する比率。

## 親投資信託残高

銘柄		第78期末		第84期末	
		口数	口数	評価額	評価額
	マネー・マーケット・マザーファンド	千口 11,293	千口 11,293	千円 11,498	千円 11,498

## ○投資信託財産の構成

（2022年3月15日現在）

項 目	第84期末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 1,587,979	% 96.9
マネー・マーケット・マザーファンド	11,498	0.7
コール・ローン等、その他	38,808	2.4
投資信託財産総額	1,638,285	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第79期末	第80期末	第81期末	第82期末	第83期末	第84期末
	2021年10月15日現在	2021年11月15日現在	2021年12月15日現在	2022年1月17日現在	2022年2月15日現在	2022年3月15日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,933,459,753	1,911,969,362	1,890,874,931	1,766,672,955	1,646,799,522	1,638,285,852
コール・ローン等	25,387,697	25,069,184	23,819,879	23,421,861	38,984,179	20,007,084
投資信託受益証券(評価額)	1,896,473,185	1,869,001,307	1,853,556,181	1,730,152,223	1,586,816,472	1,587,979,897
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	11,498,871	11,498,871	11,498,871	11,498,871	11,498,871	11,498,871
未収入金	100,000	6,400,000	2,000,000	1,600,000	9,500,000	18,800,000
(B) 負債	18,302,152	23,905,655	18,910,370	18,794,966	43,714,755	34,493,147
未払収益分配金	16,136,318	15,764,339	15,458,919	15,182,440	14,707,097	14,378,893
未払解約金	440,547	6,334,266	1,761,237	1,758,495	27,537,951	18,735,624
未払信託報酬	1,720,082	1,801,608	1,685,130	1,848,448	1,465,292	1,374,492
未払利息	28	21	12	19	6	3
その他未払費用	5,177	5,421	5,072	5,564	4,409	4,135
(C) 純資産総額(A-B)	1,915,157,601	1,888,063,707	1,871,964,561	1,747,877,989	1,603,084,767	1,603,792,705
元本	5,378,772,976	5,254,779,964	5,152,973,193	5,060,813,518	4,902,365,792	4,792,964,618
次期繰越損益金	△3,463,615,375	△3,366,716,257	△3,281,008,632	△3,312,935,529	△3,299,281,025	△3,189,171,913
(D) 受益権総口数	5,378,772,976口	5,254,779,964口	5,152,973,193口	5,060,813,518口	4,902,365,792口	4,792,964,618口
1万口当たり基準価額(C/D)	3.561円	3.593円	3.633円	3.454円	3.270円	3.346円

## ○損益の状況

項 目	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期	第84期
	2021年9月16日～ 2021年10月15日	2021年10月16日～ 2021年11月15日	2021年11月16日～ 2021年12月15日	2021年12月16日～ 2022年1月17日	2022年1月18日～ 2022年2月15日	2022年2月16日～ 2022年3月15日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	31,823,720	32,027,196	31,646,156	30,733,625	29,910,154	30,180,416
受取配当金	31,823,847	32,027,530	31,646,441	30,733,921	29,910,266	30,180,484
受取利息	2	-	1	31	-	1
支払利息	△ 129	△ 334	△ 286	△ 327	△ 112	△ 69
(B) 有価証券売買損益	△ 15,772,289	2,464,589	5,872,491	△ 104,421,059	△ 103,963,951	21,930,854
売買益	861,982	3,105,763	7,070,286	370,665	2,047,000	22,511,759
売買損	△ 16,634,271	△ 641,174	△ 1,197,795	△ 104,791,724	△ 106,010,951	△ 580,905
(C) 信託報酬等	△ 1,725,259	△ 1,807,029	△ 1,690,202	△ 1,854,012	△ 1,469,701	△ 1,378,627
(D) 当期繰越損益 (A+B+C)	14,326,172	32,684,756	35,828,445	△ 75,541,446	△ 75,523,498	50,732,643
(E) 前期繰越損益金	△ 2,217,439,607	△ 2,161,763,432	△ 2,097,187,951	△ 2,033,721,150	△ 2,051,159,794	△ 2,085,348,536
(F) 追加信託差損益金	△ 1,244,365,622	△ 1,221,873,242	△ 1,204,190,207	△ 1,188,490,493	△ 1,157,890,636	△ 1,140,177,127
(配当等相当額)	( 320,186,598)	( 314,232,905)	( 309,575,278)	( 305,494,193)	( 297,543,640)	( 292,858,392)
(売買損益相当額)	(△ 1,564,552,220)	(△ 1,536,106,147)	(△ 1,513,765,485)	(△ 1,493,984,686)	(△ 1,455,434,276)	(△ 1,433,035,519)
(G) 計 (D+E+F)	△ 3,447,479,057	△ 3,350,951,919	△ 3,265,549,713	△ 3,297,753,089	△ 3,284,573,928	△ 3,174,793,020
(H) 収益分配金	△ 16,136,318	△ 15,764,339	△ 15,458,919	△ 15,182,440	△ 14,707,097	△ 14,378,893
次期繰越損益金 (G+H)	△ 3,463,615,375	△ 3,366,716,257	△ 3,281,008,632	△ 3,312,935,529	△ 3,299,281,025	△ 3,189,171,913
追加信託差損益金	△ 1,244,365,622	△ 1,221,873,242	△ 1,204,190,207	△ 1,188,490,493	△ 1,157,890,636	△ 1,140,177,127
(配当等相当額)	( 320,186,598)	( 314,232,905)	( 309,575,278)	( 305,494,193)	( 297,543,640)	( 292,858,392)
(売買損益相当額)	(△ 1,564,552,220)	(△ 1,536,106,147)	(△ 1,513,765,485)	(△ 1,493,984,686)	(△ 1,455,434,276)	(△ 1,433,035,519)
分配準備積立金	509,910,037	511,447,498	514,981,568	518,121,044	514,183,548	515,874,311
繰越損益金	△ 2,729,159,790	△ 2,656,290,513	△ 2,591,799,993	△ 2,642,566,080	△ 2,655,573,937	△ 2,564,869,097

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## &lt;注記事項&gt;

① 作成期首 (前作成期末) 元本額 5,454,709,006円

  作成期中追加設定元本額 96,246,448円

  作成期中一部解約元本額 757,990,836円

  また、1口当たり純資産額は、作成期末0.3346円です。

② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は3,189,171,913円です。

③ 分配金の計算過程

項 目	2021年9月16日～ 2021年10月15日	2021年10月16日～ 2021年11月15日	2021年11月16日～ 2021年12月15日	2021年12月16日～ 2022年1月17日	2022年1月18日～ 2022年2月15日	2022年2月16日～ 2022年3月15日
費用控除後の配当等収益額	30,098,447円	30,349,320円	30,220,438円	28,879,599円	28,440,437円	29,381,908円
費用控除後・繰越大損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	320,186,598円	314,232,905円	309,575,278円	305,494,193円	297,543,640円	292,858,392円
分配準備積立金額	495,947,908円	496,862,517円	500,220,049円	504,423,885円	500,450,208円	500,871,296円
当ファンドの分配対象収益額	846,232,953円	841,444,742円	840,015,765円	838,797,677円	826,434,285円	823,111,596円
1万口当たり収益分配対象額	1,573円	1,601円	1,630円	1,657円	1,685円	1,717円
1万口当たり分配金額	30円	30円	30円	30円	30円	30円
収益分配金金額	16,136,318円	15,764,339円	15,458,919円	15,182,440円	14,707,097円	14,378,893円

## ○分配金のお知らせ

	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期	第84期
1 万口当たり分配金 (税込み)	30円	30円	30円	30円	30円	30円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

## ＜参考＞投資する投資信託証券およびその概要

<b>ファンド名</b>	AMP オーストラリア リート ファンド
<b>運用方針</b>	主としてオーストラリアの不動産投資信託証券に投資することにより、資産の中長期的な成長をめざします。また、原則として円に対する豪ドルのコール・オプションおよびオーストラリアの不動産投資信託指数のコール・オプションを売却し、オプションのプレミアム収入の獲得をめざします。
<b>主要運用対象</b>	オーストラリアの不動産投資信託証券、ならびに円に対する豪ドルのコール・オプション取引およびオーストラリアの不動産投資信託指数のコール・オプション取引
<b>主な組入制限</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーストラリアの不動産投資信託証券について、同一の発行体が発行する銘柄への投資比率は、純資産総額の35%以内とします。</li> <li>・オーストラリア国債への投資比率は、取得時において純資産総額の10%以内とします。</li> <li>・対円での為替ヘッジは行いません。</li> </ul>
<b>決算日</b>	毎年9月30日
<b>分配方針</b>	原則として毎月分配を行う方針です。

## AMP オーストラリア リート ファンド

運用計算書、純資産変動計算書、投資有価証券明細表は、入手可能なAUDITED ANNUAL REPORT SEPTEMBER 30, 2020版から抜粋して作成しています。

## 1. 運用計算書

(2019年10月1日～2020年9月30日)

	AMP オーストラリア リート ファンド
	円
<b>投資収入：</b>	
純配当収入（源泉徴収税の純額 22,610,870円）	76,397,594
その他収益	386,991
	<b>76,784,585</b>
<b>費用：</b>	
管理費用、保管費用	(2,954,108)
支払利息	(13,019)
代行費用、マネジャー費用	(4,726,300)
その他費用	(2,388,570)
その他税金	(320,759)
監査報酬	(2,069,859)
副マネージャー費用	(10,404,440)
副保管費用	(1,755,336)
受託費用	(1,985,656)
	<b>(26,618,047)</b>
<b>投資純収入</b>	<b>50,166,538</b>
<b>実現純利益（損失）：</b>	
実現純利益（損失）投資有価証券	(130,459,656)
実現純利益（損失）その他資産、負債の外貨換算	5,580,632
実現純利益（損失）為替予約	(2,853,474)
実現純利益（損失）オプション	(81,422,967)
	<b>(209,155,465)</b>
<b>実現純利益（損失）</b>	<b>(209,155,465)</b>
<b>未実現評価益（評価損）の純変動：</b>	
投資有価証券	(135,306,248)
その他資産、負債の外貨換算	292,137
オプション	12,677,792
	<b>(122,336,319)</b>
<b>運用による純資産の純増（減）額</b>	<b>(281,325,246)</b>

(注) 現時点で入手し得る直近の決算期分を掲載しています。

## 2. 純資産変動計算書

(2019年10月1日～2020年9月30日)

AMP オーストラリア  
リート ファンド  
円

## 期首純資産

2,850,780,756

## 投資純収入

50,166,538

## 実現純利益(損失) :

実現純利益(損失) 投資有価証券	(130,459,656)
実現純利益(損失) その他資産、負債の外貨換算	5,580,632
実現純利益(損失) 為替予約	(2,853,474)
実現純利益(損失) オプション	(81,422,967)
	(209,155,465)

## 未実現評価益(評価損)の純変動 :

投資有価証券	(135,306,248)
為替予約	-
その他資産、負債の外貨換算	292,137
オプション	12,677,792
	(122,336,319)

出資  
償還  
分配金額

1,042,261,320  
(886,300,000)  
(608,861,320)  
(452,900,000)

## 期末純資産

2,116,555,510

(注) 現時点で入手し得る直近の決算期分を掲載しています。

## 3. 投資有価証券明細表

(2020年9月30日現在)

(円で表示)

銘柄	通貨	口数	取得原価	市場価格	対純資産比率 (%)
<b>TRANSFERABLE SECURITIES ADMITTED TO AN OFFICIAL STOCK EXCHANGE OR DEALT IN ON ANOTHER REGULATED MARKET</b>					
<b>REAL ESTATE INVESTMENT TRUST</b>					
<i>AUSTRALIA</i>					
ABACUS PROPERTY GROUP	AUD	190,387	52,509,038	41,905,780	1.98%
ARENA REIT	AUD	77,265	13,194,648	15,896,275	0.75%
AVENTUS RETAIL PROPERTY FUND	AUD	25,000	4,507,103	4,462,679	0.21%
BWP TRUST	AUD	150,386	35,627,475	45,954,962	2.17%
CENTURIA OFFICE REIT	AUD	46,891	9,604,316	7,235,412	0.34%
CHARTER HALL GROUP	AUD	186,267	104,000,563	175,126,029	8.27%
CHARTER HALL LONG WALE REIT	AUD	189,516	68,795,444	71,960,345	3.40%
CHARTER HALL RETAIL REIT	AUD	177,183	53,123,582	45,030,312	2.13%
DEXUS	AUD	197,216	156,650,829	132,613,447	6.27%
GOODMAN GROUP	AUD	481,818	352,012,191	653,806,315	30.90%
INGENIA COMMUNITIES GROUP	AUD	176,397	53,551,855	60,841,466	2.87%
MIRVAC GROUP	AUD	947,985	187,209,850	156,315,345	7.39%
NATIONAL STORAGE REIT	AUD	438,455	55,827,517	60,192,906	2.84%
SCENTRE GROUP	AUD	1,134,794	309,878,643	188,835,378	8.92%
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA PROPERTY GROUP	AUD	361,993	64,177,219	58,594,602	2.77%
STOCKLAND	AUD	618,250	190,131,954	176,766,337	8.35%
THE GPT GROUP	AUD	325,920	135,854,487	96,143,354	4.54%
VICINITY CENTRES	AUD	389,987	43,683,641	40,559,862	1.92%
WAYPOINT REIT	AUD	327,258	49,783,098	67,081,568	3.17%
<b>TOTAL REAL ESTATE INVESTMENT TRUST</b>			<b>1,940,123,453</b>	<b>2,099,322,374</b>	<b>99.19%</b>
<b>TOTAL INVESTMENTS IN SECURITIES</b>				<b>2,099,322,374</b>	<b>99.19%</b>
CASH AT BANKS AND BROKERS				38,468,328	1.82%
INVESTMENTS IN OPTIONS				(9,726,890)	(0.46)%
OTHER NET LIABILITIES				(11,508,302)	(0.55)%
<b>TOTAL NET ASSETS</b>				<b>2,116,555,510</b>	<b>100.00%</b>

## マネー・マーケット・マザーファンド

### 《第34期》決算日2021年11月22日

[計算期間：2021年5月21日～2021年11月22日]

「マネー・マーケット・マザーファンド」は、11月22日に第34期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第34期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準 円	価額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率					
30期(2019年11月20日)	10,183		0.0		—		—	百万円 1,636
31期(2020年5月20日)	10,182		△0.0		—		—	1,218
32期(2020年11月20日)	10,182		0.0		—		—	1,133
33期(2021年5月20日)	10,182		0.0		—		—	1,245
34期(2021年11月22日)	10,182		0.0		—		—	1,637

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

### ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準 円	価額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率
		騰 落	率				
(期首) 2021年5月20日	10,182		—		—		—
5月末	10,182		0.0		—		—
6月末	10,182		0.0		—		—
7月末	10,182		0.0		—		—
8月末	10,182		0.0		—		—
9月末	10,182		0.0		—		—
10月末	10,182		0.0		—		—
(期末) 2021年11月22日	10,182		0.0		—		—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

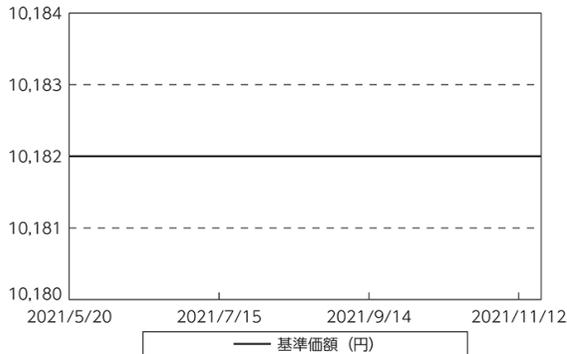
## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ横ばいとなりました。

基準価額等の推移



## ●基準価額の変動要因

## (上昇要因)

利子等収益が積み上がったことが基準価額の上昇要因となりました。

## (下落要因)

運用資金に対するマイナス金利適用などが基準価額の下落要因となりました。

## ●投資環境について

## ◎国内短期金融市場

- ・無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。
- ・当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.038%となりました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保をめざした運用を行いました。

## ○今後の運用方針

- ・消費者物価の前年比は依然として2%を大きく下回っており、今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2021年5月21日～2021年11月22日)

該当事項はございません。

## ○売買及び取引の状況

(2021年5月21日～2021年11月22日)

## その他有価証券

		買付額	売付額
国内	コマーシャル・ペーパー	千円 148,799,918	千円 148,399,922

(注) 金額は受渡代金。

## ○利害関係人との取引状況等

(2021年5月21日～2021年11月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2021年11月22日現在)

## 国内その他有価証券

区 分	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 1,399,999	% 85.5

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

## ○投資信託財産の構成

(2021年11月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
その他有価証券	千円 1,399,999	% 85.5
コール・ローン等、その他	237,307	14.5
投資信託財産総額	1,637,306	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年11月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,637,306,604
コール・ローン等	237,306,977
その他有価証券(評価額)	1,399,999,627
(B) 負債	311
未払解約金	80
未払利息	231
(C) 純資産総額(A-B)	1,637,306,293
元本	1,608,067,544
次期繰越損益金	29,238,749
(D) 受益権総口数	1,608,067,544口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,182円

<注記事項>

- ①期首元本額 1,222,764,744円  
 期中追加設定元本額 429,131,685円  
 期中一部解約元本額 43,828,885円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0182円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2030(確定拠出年金)	543,606,316円
三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド	483,545,923円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンド>	93,719,236円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンドA>	52,689,149円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンド>	50,469,473円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2030	30,328,032円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	24,765,135円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース>(毎月分配型)	20,075,917円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	16,341,949円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)	11,916,657円
ビムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド(毎月分配型)	11,784,347円
三菱UFJ/AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム>(毎月決算型)	11,293,333円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Aコース(為替ヘッジなし)	10,766,608円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド(毎月分配型)	10,715,809円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	9,893,887円
マネープールファンド(FOFs用)(適格機関投資家限定)	9,877,682円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	9,828,976円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし>(年2回決算型)	9,376,245円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Bコース(為替ヘッジあり)	9,187,206円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム>(毎月分配型)	8,478,079円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	8,124,755円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム>(毎月分配型)	8,067,104円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	7,196,270円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり>(年2回決算型)	6,675,966円
欧州ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)	6,643,326円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<Wプレミアム>(毎月決算型)	6,324,266円
三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド 豪ドル円プレミアム(毎月決算型)	5,899,118円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし>(毎月分配型)	5,812,610円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(毎月分配型)	5,548,198円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	5,411,821円

○損益の状況 (2021年5月21日~2021年11月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 24,881
受取利息	3,647
支払利息	△ 28,528
(B) 当期損益金(A)	△ 24,881
(C) 前期繰越損益金	22,250,963
(D) 追加信託差損益金	7,810,102
(E) 解約差損益金	△ 797,435
(F) 計(B+C+D+E)	29,238,749
次期繰越損益金(F)	29,238,749

(注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (毎月分配型)	5,114,733円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (毎月分配型)	4,489,124円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (毎月分配型)	4,433,586円
スマート・プロテクター90 (限定追加型) 2016-12	4,349,768円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (年2回分配型)	4,145,749円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)	3,947,842円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	3,857,128円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	3,683,862円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	3,545,187円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	3,517,041円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	3,377,211円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	3,319,056円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (毎月決算型)	3,308,438円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	3,307,993円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	3,156,977円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型> (3ヵ月決算型)	3,063,931円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)	2,990,177円
三菱UFJ ターゲット・イヤーフンド 2030	2,808,880円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (年2回分配型)	2,664,317円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	2,590,474円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	2,474,981円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	2,308,140円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり> (毎月決算型)	2,259,287円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	2,156,093円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	2,065,331円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	2,016,707円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	1,936,118円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	1,860,635円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (毎月分配型)	1,628,992円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	1,616,484円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (年1回決算型)	1,609,969円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (年2回分配型)	1,528,278円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	1,513,806円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	1,491,640円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (毎月分配型)	1,378,553円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンドB>	1,355,251円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (毎月分配型)	1,171,788円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	1,145,161円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアルピアコース> (毎月分配型)	1,033,322円
スマート・プロテクター90オープン	981,933円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	845,131円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	665,580円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース> (毎月分配型)	642,729円
ビムコ・エマーシング・ボンド・オープン Cコース (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	521,457円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	511,609円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,449円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	490,224円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (年2回分配型)	409,936円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	368,276円
ビムコ・エマーシング・ボンド・オープン Dコース (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	354,513円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (年2回分配型)	345,928円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース> (毎月分配型)	282,290円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (年2回分配型)	278,281円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (年2回分配型)	215,434円

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	212,322円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	177,761円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (年2回分配型)	175,974円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	169,198円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (資産成長型)	138,420円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (資産成長型)	138,394円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	132,542円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	123,415円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)	111,354円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース> (毎月分配型)	89,620円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	89,371円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	87,384円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (年2回分配型)	69,757円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (年2回分配型)	60,179円
テンブルトン新興国小型株ファンド	49,097円
三菱UFJ インデックスオープン (毎月決算型)	39,351円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド (年2回分配型)	30,649円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (毎月分配型)	20,609円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	10,814円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (年2回分配型)	10,795円
バリュース・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,829円
バリュース・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	9,829円
バリュース・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	9,829円
<DC>ベイリー・ギフォード ESG世界株ファンド	9,822円
ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド (予想分配金提示型)	9,822円
ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド (予想分配金提示型)	9,822円
ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	9,821円
<DC>ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	9,821円
ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド	9,821円
マクロ・トータル・リターン・ファンド	9,820円
わたしの未来設計<安定重視型> (分配コース)	9,820円
わたしの未来設計<安定重視型> (分配抑制コース)	9,820円
わたしの未来設計<成長重視型> (分配コース)	9,820円
わたしの未来設計<成長重視型> (分配抑制コース)	9,820円
グローバル・インカム・フルコース (為替リスク軽減型)	983円
グローバル・インカム・フルコース (為替ヘッジなし)	983円
米国株式トレンド・ウォッチ戦略ファンド	983円
合計	1,608,067,544円